

総務教育

町政への要望と回答

総務教育常任委員会は11月12日と13日の2日間、産業建設民生常任委員会は11月16日と17日の2日間、それぞれ所管事務調査を実施し、この調査に基づき町政への要望を提出しました。要望の内容と回答は、次のとおりです。

1 避難所について

要望 コロナ禍での避難所開設・運営にあたっては、感染症対策を徹底し、防災訓練での反省を踏まえ、避難者の安全を守る体制に努めていただきたい。

回答(総務課) 全国の各自治体では、災害時の避難所における新型コロナウイルス感染症対策や避難所の確保など、受け入れ体制の整備が進められており、町でも感染症に留意した開設・運営の見直しなどに取り組んでいるところである。今後とも、避難者の安全を確保するため、感染症対策に必要な設備、備蓄品等の確保などの環境づくりを進めながら、適切な開設・運営が図られるよう、

努めていく。

要望 非常時の避難所運営は自主防災組織の協力も必要であることから、事前に協力体制を築くよう地域の活動等サポートしていただきたい。

回答(総務課) 新型コロナウイルス感染症対応など、避難所の果たすべき役割や機能が多岐に及ぶ中、自主防災組織との連携・協力による避難所運営の重要性が指摘されている。町内地区組織との運営・協力体制を構築するためには、組織の育成強化とそれのための支援が必要であり、町では、自主防災活動に必要な物品の購入や「防災士養成研修」など人材育成のための費用助成などに取り組んでいる。今後とも、自主防災組織との情報交換を通じ、必要な支援等を行いながら、体制の構築に努めていく。

2 財政について

要望 今後も町政運営に支障をきたすことのないよう引き続き財政の健全化に努められたい。

回答(財政課) 本町における財政状況は、その健全性を示す健全化判断比率において、国の定める基準を全てクリアしており、今のところ良好な状態にあるが、復興事業の完了により予算規模が縮小していく中、新型コロナウイルス感染症の影響による町税収入の減少が見込まれるなど、今後ますます厳しいものになると予測されることである。また、復興後のまちづくりとして、新道の駅や山田小学校新校舎の建設など、山田町総合計画に掲げる施策を展開していく必要があることから、引き続き、限られた財源の有効活用を図るとともに、経常経費の節減に努めるなど、財政の健全化に取り組んでいく。

3 公共交通について

要望 住民懇談会や利用者の意見を踏まえながら、まちづくりに合わせた交通体系の整備に努められたい。

回答(復興企画課) 高齢者をはじめとする交通弱者の方々から寄せられている意見を踏まえながら、通院や買い物時における利便性の向上など、地域の実情に配慮した交通体系の構築に努めていく。

4 教育について

要望 山田町立山田小学校新校舎基本構想策定にあたっては、児童が安全安心に生活できる校舎の建設や、現代社会の実情に即したICT教育等、慎重に検討しながら策定していただきたい。

回答(学校教育課) 基本構想については、教育委員会や山田小学校新校舎建設に係る懇談会などでいただいた意見を踏まえながら検討を重ね、元年12月4日に策定したところである。今後は、この基本構想を基に設計作業を進めることとなるが、その際にも校長会、教職員、児童、山田小学校学校運営協議会、保護者等関係者から意見をいただきながら慎重に検討を進めていく。

6 環境について

要望 環境美化活動に住民と行政一体となって取り組んでいけるよう策を講じていただきたい。

回答(町民課) 今後も町内各地区の環境美化活動や活動を休止している組織の再構築を支援してい